



▲日本一の緑歩道めざして

緑道の整備をすべき

答弁：整備を進める

古庄 勝田線跡緑歩道は、緑の回遊都市創出のため事業費9億5千万円をかけ平成5年に整備。その後、毎年2千万円の管理費を投下、町歩きガイドにも掲載している



古庄 信一郎 議員

が、未整備箇所や凸凹も多く、十分に安全で且つ、当初の目的を達しているのか。

町長 先人の思いに充分答えられていない。

我が町の資源資産として外部にアピールするためにも、きちんと整備する。

美弥跡地開発に提言を
答弁：意見を聞いて進める

462坪には、地元住民は大型車騒音や交通問題で20年以上苦しみ、緑歩道も112m未整備。今、新たに開発の話が進んでいるが、更地をそのままにしておく事もできず、より良い解決のために、行政として地元と情報を共有し、アドバイスと指導をすべき。

町長 日本一の緑道整備を第一前提に、意見を聞きながら進める。



二宮 美津代 議員

権利を学ぶ 学年毎のテキスト作成

答弁：学校現場と協議対応

二宮 子ども自身、自分の権利が大事にされていれば、他人の権利も大切にできると思う。子ども期に欠かせない権利の学習を学校ではどのようにされているのか。

学校教育課長 子育て支

援課と連携し、啓発、研修、CAP事業を行っている。

二宮 子どもの権利を知ることによって、自らを守る事ができると思う。学年に応じたテキストを作成し、授業の中に取り入れ学習できないか。

学校教育課長 道徳、人権教育の中で、志免町子どもの権利条例の学習をしている。テキストを使ってのプログラムはない。

二宮 子ども条例で謳われている子ども固有の権利を行使できるよう取り組んでほしい。

教育長 学校現場とも協議し取り組む。

【その他の質問】

- 空き家の適正な管理をするため条例の策定を。
- 地域自主防災組織の設置を促す取り組み。
- 防災士の育成。

※CAP事業とは暴力や犯罪から自分を守るための教育事業で4年生で実施



▲子どもの権利をわかりやすく



▲新設地域交流課(生涯学習1号館)



堤 久美子 議員

地域活性化 秀逸百選に子ども目線を

答弁：取り組みは可能

堤 県肝入りの今年度かすや中南部広域連携プロジェクトと事業の秀逸百選に、子ども目線で公募しては。

経営企画課長 広く公募するので可能

堤 広くは抽象的、学校

フェイスブック等活用を
答弁：しっかり検証する

堤 情報を持っている若者たちを取り込む手段に、フェイスブック等の

等で取り組みれば、町に対する愛着心、郷土愛につながる。この事業は着実に動いている。手を抜かず関係団体に呼びかけ6町間で活性化に向けて取り組むべき。

必要性は。

町長 大正町芸術祭のようなイベントに対して、フェイスブック等の活用はいいと思う。今回の東日本震災でクローズアップされたが、しっかり検証していかなければならない。

堤 総務省でも推進されている。

利活用できるように検討して欲しい。

保育行政 届け出保育所に支援を

答弁：協議・検討したい

町長 子育て支援に貢献

助村 町内の届け出保育施設には、121人の子どもが通っており、町立保育園などで対応できないニーズや待機児童の解消に役立てられる。



助村 千代子 議員

投票率の向上の取り組み
答弁：考えていきたい。

助村 若人の投票管理者や立会人の選任をなぜ公募しないのか。

住民課長 努力不足で反省している。

助村 受け付け事務、投票用紙交付も若い人に選挙に興味を持ってもらいたいと、高校生が行っている自治体もある。加えて検討願いたい。

住民課長 検討課題の一つ。考えていきたい。



▲園児への助成を